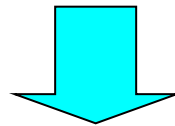


痛みとは

痛みとは

- 痛みは、組織の損傷を引き起こす、あるいは損傷を引き起こす可能性のある時に生じる「不快な感覚」や「不快な情動を伴う体験」、あるいはそのような損傷を表現する用語で表される「不快な感覚」や「不快な情動を伴う体験」と定義されている。（国際疼痛学会（IASP）1981年）



- ・痛みは感じている本人にしかわからない
- ・感じ方は千差万別、訴えもさまざま
- ・聞き手により得られる情報に差、評価も難しい

がんの痛みの原因

□ **がん自体が原因となった痛み**

がんの痛みの原因の60～80%を占める

がんの増殖による組織障害といった侵害受容性の要素をもつ

骨転移、消化管の閉塞、神経へのがんの浸潤

□ **がんに関連した痛み**

リンパ浮腫、便秘、褥瘡などによる

□ **がん治療に関連して起こる痛み**

約20%の患者が経験する

手術後の痛みを除くと神経障害性疼痛の要素が強い

手術、化学療法、放射線療といったがんの治療が原因

□ **併発したがん以外の疾患による痛み**

入院患者:3%、外来患者:約10%

もともとあった慢性の腰痛や関節の痛みなど

多くは体性痛、帯状疱疹後の神経痛は神経障害性疼痛

がん患者に生じる痛みの種類別特徴

	侵害受容性疼痛		神経障害性疼痛
	内臓痛	体性痛	
疼痛刺激	<ul style="list-style-type: none"> ・管腔臓器の内圧の上昇 ・臓器皮膜の急激な進展 	<ul style="list-style-type: none"> ・切る、刺す、叩くなどの機械的刺激 ・炎症などの化学的刺激 	<ul style="list-style-type: none"> ・中枢神経、末梢神経の圧迫や断裂など
例	<ul style="list-style-type: none"> ・がん浸潤による消化管の通過障害 ・肝臓の腫瘍破裂など急激な皮膜進展 	<ul style="list-style-type: none"> ・骨転移、皮膚転移に伴う痛み ・リンパ節転移に伴う深部組織障害 ・腹膜や胸膜の炎症など 	<ul style="list-style-type: none"> ・脊椎転移の硬膜外浸潤、脊髄圧迫 ・化学療法、放射線療法後の神経障害 ・パancoスト肺腫瘍による腕神経叢障害など
痛みの特徴	局在が不明瞭、絞られるような痛み、押されるような痛み	局在が明瞭、疼くような持続痛 体動時の鋭い痛み	障害神経支配領域の痛み 電気が走るような痛み 痺れるようないたみ
随伴症状	嘔気・嘔吐や発汗などを伴うことがある 関連痛と呼ばれる病巣から離れた痛みを認める	頭蓋骨、脊椎転移は病巣から離れた部位への痛みの放散を伴う	感覚低下、知覚異常、運動障害などを伴う
治療における特徴	オピオイドが有効	NSAIDsが有効 突出痛に対するレスキュー・ドーズの使用が重要	難治性で鎮痛補助薬が必要となることが多い